

ダム事業の名称	清津川ダム
所在都道府県、水系、河川名	新潟県 信濃川水系 清津川
事業者名	国土交通省 北陸地方整備局
事業の概要・問題点・中止に至る経過・中止理由・その後の状況（自由記述・図表等の貼り付け可）	
<p>事業の概要（規模、目的、大まかな変遷など）</p> <p>規模：堤高150m 堤頂長：370m 総貯水容量：1億7千万m³ 目的：洪水調節 灌漑・都市用水 総工費当初算定 2500億円</p> <p>事業の問題点（必要性の評価、自然破壊、地域社会破壊など）</p> <p>湯沢町の三俣・八木沢・大島の3集落110戸が水没 下流中里村の国立公園名勝天然記念物清津峡の景観・環境被害の恐れ</p> <p>建設の根拠と矛盾</p> <p>信濃川の基準点小千谷での基本高水1万3500m³/sと計画高水1万1000m³/sの差2500m³/sを上流ダム群で調節するもの。清津川ダムは同規模のダム6～7個のうちの一つであるが、他のダムの建設予定がない。信濃川全集水面積のうち清津川ダムの集水面積は2%以下に過ぎない。先に堤防強化やかさ上げが必要。 下流自治体の利水要望が1980年（昭和55）に35m³/sから1992年（平成4）に2m³/sに激減。</p> <p>中止に至る経過（構想段階から中止に至るまでの経過）</p> <p>1966年（昭和41）予備調査開始 1971年（昭和46）概要説明 地元ダム対策協が反発 1981年 建設省が地元生活再建計画案を提示 住民集会で受け入れ拒否 1984年（昭和59）清津川調査事務所開設 実施計画調査に入るが地元は交渉拒否 1990年（平成2）県が地域整備計画案を提示 生活再建に係る調査のみ同意 1998年（平成10）実施計画調査受け入れ 1999年（平成11）湯沢町議会が建設促進決議（建設業救済のため） 三俣ダム対策協は町議会に抗議 NGO 清津川ダムを考える会発足 2000年（平成12）与党3党が公共事業見直し案 清津川ダムは実施計画調査に入っても10年以上未採択として中止にリストアップ 地元県議・国会議員が働きかけ、亀井静香建設大臣が復活させる。 北陸地建事業評価監視委員会が専門委員会を設置（その後12回開催） 2001年（平成13）下流中里村議会が全会一致で反対決議 ふるさとの清津川を守る会発足 署名12000筆提出 2002年（平成14）三俣地区住民署名 18世帯53筆 専門委員会に提出 7月 専門委員会は中止答申 12月 国交省中止決定</p> <p>中止理由（国交省平成15年度予算に向けた再評価結果一覧 再評価結果一覧 平成14年12月末時点）</p> <p>「治水面では、信濃川流域における治水安全度の向上が必要かつ重要であるが河川整備の優先順位が不明確であること、また利水面では、現時点で直ちに大規模な水資源開発を行う緊急性は薄いと考えられ</p>	

ることから、清津川ダムの実施計画調査は中止することが適当である」という清津川ダム専門委員会の答申を最大限尊重し、清津川ダム実施計画調査の中止する。

中止後の状況（当初目的についての現況、地域生活再建、河川・地域環境の現状、ダム等計画復活の動きの有無など）

- 2009年現在、信濃川水系河川整備計画策定のための学識者会議を継続中（基本高水の見直しはなく、治水計画は宙に浮いたまま）
- 下流自治体の市町村合併等により、利水要望はほぼ消滅
- 地域生活再建は具体的に進んでいない（ダム計画がもたらした地域分裂の影響が大きい）
- 清津川下流では、引き続き東京電力の流域変更する発電水利権更新に反対運動が続く
- ダム計画の復活の動きは無し

中止獲得までに特に苦労したこと・中止獲得に至るまでの創意工夫

公共事業チェック議員の会を呼んでの現地視察・地元住民との懇談会を行ったことで、公に反対を言えなかった水没予定地区住民のなかに反対意思表示する気運が生まれた。

清津川ダム専門委員会は第1回が非公開で行われたため、考える会など関係団体が公開を強く要望し、第2回から公開となった。その結果、審議の透明性が確保され、多くの傍聴者やマスコミが見守る中で委員の意見が起業者寄りになることなく行われた。また、委員会宛てに関係団体からのこまめな資料送付や住民署名が提出されたことで、一方的に起業者資料に偏る判断が避けられたことは、中止答申に大きな影響になったと考えられる。

中止獲得までに協力を得た団体とその内容

水源連・旧中里村・村議会など

そのほか特に伝えたいこと

大熊孝元新潟大学教授が専門委員会の委員であったことは、反対派に大きくプラスになった。

当時の団体名	清津川ダムを守る会
現在の団体名	
連絡担当者	三橋 允子
住所（郵便番号から）	〒959-0421 新潟県新潟市鱈 176
電話	0256-88-2290
F A X	
電子メール	mituhasi-m@mua.biglobe.ne.jp
ホームページ	
団体名	ふるさとの清津川を守る会
連絡担当者	藤ノ木 信子
住所	〒949-8433 新潟県十日町市小出 2137-3
電話	025-763-3761
FAX	025-763-4186
電子メール	Nobuko.f@crest.ocn.ne.jp